

プロダクトデザインにおける生物的表現の研究

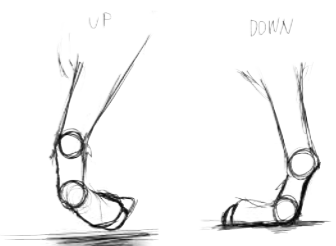
■無機 × 有機

カメラとそれらを支える三脚という通常、無機的であり機能を主に使用されるプロダクト。そこに「生物」というテーマを掛け合わせることで、个性的かつ今までになかった新たな価値が生まれるのでは？



■調査と印象

実際に動物を見ることで生物の持つ魅力をより鮮明に感じとる。様々な生物を観察することで見えた「動物らしさ」とはその名の通り「動き」にあり、動物の動きは機能的かつ魅力的に働く。



■筋肉と骨格

動きを生み出すのは全身の筋肉と骨が働いているため。
動きをテーマにするため、筋肉と骨をイメージ。
より動きを表現する「脚」に注目してプロダクトを制作。



■検討スケッチ

